

## 平成26年度 (技術・家庭科 家庭分野) 授業改善推進プラン

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的・問題解決的学習を重視することによって、生徒の興味を喚起し、関心意欲の向上を図る。</li> <li>・生徒の到達度を把握し、授業の中で発展的・補充的学習を必要とする生徒について対応し、知識・技能の習得を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習とつなげて技術の習得とともに、知識・理解が深められるような指導計画を立てる。</li> <li>・題材ごとにまとめを行い、学習の振り返りができるようにする。</li> <li>・小題材ごとの確認テストを繰り返し行うことにより学習内容の定着を図る。</li> <li>・問題解決的な学習を組み入れることにより、学習した知識などをいかに活用していくのか考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習のワークシートを作成する際、問題を解きながら学習のまとめが作成できるようにする。</li> <li>・題材ごとに、理解が不十分な生徒に対する課題を与え理解を促すようにする。</li> <li>・問題解決型のすすめ方に関する学習を組み入れ、記入しやすいワークシートを作成する。</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的・問題解決的学習を重視することによって、生徒の興味を喚起し、関心意欲の向上を図る。</li> <li>・生徒の到達度を把握し、授業の中で発展的・補充的学習を必要とする生徒について対応し、知識・技能の習得を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習全体の流れを押さえてから、題材に入るようにすることでねらいを明確にする。</li> <li>・押さえたい技能を先に学習し、日常生活に生かしていくための題材であることを確認する。</li> <li>・技能の学習の際に段階標本やワークシートを作成して使用し、理解を深めさせ実技が習得させやすいようにする。</li> <li>・問題解決的な学習を組み入れることにより、学習した知識をいかに生活の中で活用していくのか考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能の学習の際に、段階標本の活用やワークシートを工夫して作成することにより、実技が習得しやすいようにする。</li> <li>・時間ごとの目標を明確にし、作業だけを行うのではなく、作業と知識をつなぎ合わせるような指導方法をとる。</li> <li>・学習内容を日常の生活と結びつけていくような記入しやすいワークシートを作成する。</li> </ul>
3 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験的・問題解決的学習を重視することによって、生徒の興味を喚起し、関心意欲の向上を図る。</li> <li>・生徒の到達度を把握し、授業の中で発展的・補充的学習を必要とする生徒について対応し、知識・技能の習得を図る。</li> <li>・ロールプレイングや問題解決学習を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間ごとの指導目標を明確にし、その時間で学習が完結するように題材のすすめかたを工夫する。</li> <li>・ワークシートを工夫して作成することにより、各時間での評価項目を明確にし、関心意欲を高める。</li> <li>・ワークシートを使用する際に、評価規準を明確にし、適切に記入できるようにさせる。</li> <li>・技能と知識を結び付けた題材を取り扱うことにより、内容を理解させやすくする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの記入が不十分な生徒に関しては、記入しながら内容をまとめていけるようにする。</li> <li>・作品を作るとき、製作ばかりでなく、製作に関するまとめのレポートを作成させる。</li> <li>・定期考査の問題作成において、評価の観点をあらかじめ示すことで、生徒が自分の理解力に合ったレポートの作成ができるようにする。</li> </ul>